

## お互いに

高三

明るい人、静かな人、おもしろい人、暗い人、いろいろな人がいて人間関係が成り立つ。全ての人があるわけではないし、自分と同じわけでもない。意見が合わなくてもそれは一人一人の個性だ。

昔、人と比べて自分を責めている人がいた。なぜ比べるのだろうか。私は思った。もしかしたら比べた相手は、その人自身より努力をしていたかもしれない。目標となるものに向かっていたのかもしれない。私は、自分と誰かを比べるのはやっぱり違うと思った。

いじめの問題も、もしかしたら同じかもしれない。自分と比べて相手が自分と合わなかったり、どこかが違ったりすると、最初は無視や悪口から始まってだんだんエスカレートしていき、いじめとなるのではないかと思う。「合わないのが普通だから変だと思わない」という考えが一番だと思える。本当に、いろいろな人がいるから、それが正

解でどれが間違いないのか実際のところ分らない。

ただ、今言えることは、自分が正しいと思っている方向へ行つてほしいということだ。一人一人考えやプライドをもっているから、全員が同じ方向に進むのではなく、自分の考えを大切にしてほしい。皆が同じ流れの中にいるとき、一人が別の向きになるからいじめが発生すると思う。誰もが散らばることはいじめ特有の雰囲気は少しはなくなると思う。

最初に言った通り、明るい人や静かな人など、個性がたくさん集まって人間関係が成り立つわけだから、「自分はあるの子と合わないから一切関わらない」というのは変だと思う。また、無理に合わせることも一つの手段だが、相手が不快に思うかもしれないので、何とも言えない。感情の読み取り方は人それぞれ違うので、自分も相手も不快にならないようなコミュニケーションを取るのが一番だと思う。